

民主党足立区議団 各位

平成 19 年 10 月 22 日

民主党足立区議会議員

長谷川 たかこ

産業環境委員会地方都市行政視察について、民主党足立区議団へ意見書を提出いたします。今回の目的を持った視察は意義があり、進んだ行政事務や事業を学び、その内容が足立区に反映出来るかを見極める重要な公務であることは充分認識しております。議員として一年 365 日、責任を全うすることは当然のことです。

この件についての意見を述べる前に、今回の視察に対する私の対応について、幹事長にご報告をすることが遅くなりましたことを、お詫び申し上げます。

今回、産業環境委員会で 10 月 24 日から 10 月 26 日までの視察が行われます。視察日程の中で一日目は山形県、二日目は福島県になっております。行程については別紙の通りです。

(なお、12 日に産業環境委員会にて場所が確定し報告をされましたが、具体的なスケジュール表については 17 日、18 日頃に出来上がるとの報告を事務局から受けていました。このスケジュール表は 19 日に頂いたも

のです。)

一日目。集合時間は上野駅に 9 時 45 分。山形駅到着は 12 時 59 分。山形市役所、視察開始時間は 13 時 30 分、終了時間は 15 時です。そして市役所からホテル着は 15 時 40 分です。

二日目。福島駅着は 11 時 15 分。お昼をはさみ福島県では産学官連携による産業支援事業による産業交流プラザの施設の見学、施策についての説明を受ける予定になっております。産業プラザの視察が 13 時から 14 時 30 分までとなり、ホテル着は 15 時です。

一日目、二日目ともにホテル着からは自由行動となっており、家庭の事情から一日目の視察終了後、一回自宅に戻り、二日目も自宅から福島県に参り視察に参加する所存です。

10 月 21 日に [] 幹事長にその旨を報告させていただきましたところ、このような趣旨のお答えが返って参りました。（ ）内は、長谷川本人の言葉です。

1. なぜ、最初にこの件について幹事長に相談をしないのか。

2. 公務については2泊3日のすべてが公務である。寝食することも公務である。

3. いかなる理由があるにせよ、子供のことで帰宅するなど政治家としての資質に欠ける。そんなことを他の議員に言えば笑われる。

4. 女性議員はこんなことをするからだめなんだ。

5. こんなことは電話で話すことではないだろう。

(では月曜日に幹事長にきちんと話をしたいので区役所でお会いしたいのですが。)

→なんであなたのために行かなきゃ行けないんですか。

6. 私は聞かなかったことにする。

以上が足立区議団、[REDACTED]幹事長の意見です。これは民主党足立区議団の意見もあるのでしょうか。

特に以下の点について、民主党足立区議団に所属の皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。

2. 公務については2泊3日のすべてが公務である。寝食することも公務である。

私の考えでは、視察をすることこそ公務であると考えております。今回2箇所、合計3時間の視察には全て参加をするつもりです。

3. いかなる理由があるにせよ、子供のことで帰宅するなど政治家としての資質に欠ける。そんなことを他の議員に言えば笑われる。

4. 女性議員はこんなことをするからだめなんだ。

このような表現は、子育てをしながら政治活動を行っている女性議員を蔑視する発言です。

私は足立区議会議員選挙に立候補した際には、子供をしっかり守り、区民の目線と母親としての目線で政治を行いたいと決意しました。

女性の目線と母親の目線で区民の皆様のために活動をするとお約束をし、区民の皆様によって選ばれました。私を推薦してくださった衆議院議員、

その他の推薦人、支援者の方々からも、母親としての子供の育児の責任と区民の目線を忘れずに議員として行動をするようにとアドバイスを頂いております。

私の判断基準は足立区議会の議員の中では間違っていることでしょうか。新人議員としての私の議会知識が不足しているために、[REDACTED]幹事長から今回のようなご指導を賜り恐縮しながらも、区民の皆様に区議會議員の公務の一端をご理解、ご判断をいただくために、足立区議会の実情をホームページで紹介をしたいとも思います。

民主党足立区議団、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。